



尾島図書館だより

No.183 2019. 1. 5

太田市立尾島図書館

謹賀新年



あけましておめでとうございます。

今年は、平成最後のお正月。みなさん、どんなお正月をお過ごしでしょうか？

世の中、「平成最後」をキーワードに、いろいろな記念イベントやバーゲンやパーティーや飲み会など、各地で催されているようであります。

お正月の恒例行事が終わったところで、やっとのんびりとできるわずかにのこった年始休暇を、いかがすごしたのか・・・とお思いのみなさん。

平成は最後まで、年の初めは、なんでも「事始め」。

今年初めての図書館で、今年初めて読む本を探してみましよう。

あるいは、今年は〇〇を読破するぞーなんて志を立てるもよし、今年もいっぱい読むぞ！と

心意気も新たに本を手にとるもよし。

とにかく、今年も図書館に、いらっしゃ〜い♡



平成 30 年 = 今上天皇 即位 30 周年 天皇・皇室の本

●明仁天皇の言葉(近重幸哉)

平成30年と目される「上皇」への退位。幼少期から皇太子時代を経て今日に至るまで、その発言に滲み出る本当の“胸の裡”とは…。皇室ジャーナリストが明仁天皇の言葉を抽出し、その気持ちを思量する。

●明仁天皇と裕仁天皇(保坂正康)

「君主」の父・裕仁天皇、「民主」の子・明仁天皇。ここには、天皇家の「父と子」のみに伝えられる口承があった。2人の象徴天皇、それぞれの「戦争と平和」に秘められた昭和史の真実に迫る。

●平成皇室論(橋本 明)

世界の王制を俯瞰しながら皇室が伝統的に保持してきた内容をたどり、皇太子、東宮家がよりよいかたちで機能するにはどうしたらいいのかを考察。雅子妃の病状に応じた、いくつかの選択肢も示す。

●日本人と天皇(田原総一郎)

藤原道長、平清盛、足利義満、織田信長、マッカーサー…。権力者たちはなぜ天皇に取って代わらなかったのか。天皇はなぜ生き残ったのか。田原総一郎が日本史最大の謎に挑む。『中央公論』連載を再構成。



今年も、尾島図書館のご利用をお待ちしています。

平成「本の世界」クロニクル

- 元年 TUGUMI 天安門事件
- 2年 愛される理由
- 3年 Santa Fe
- 4年 それいけ×ココロジー
- 5年 磯野家の謎
- 6年 日本をダメにした九人の政治家
- 7年 ソフィーの世界

「平成」の30年間、数々のベストセラーが生まれ多彩な作家が生まれました。図書館で、利用・予約された本の中で、目立ったものを挙げてみました。(話題になった年) “ああ、あれね”なんてものも、“へえ、そうだったの”なんてものもあるでしょ。読んでみませんか？

大胆なりえちゃんが話題になりました！



H7. 阪神淡路大震災



H7. この事件も



H5. 皇太子ご成婚

- 8年 脳内革命
- 9年 失樂園 → 中年(?)カップルがもえたー！

ハリー・ポッターシリーズは発売日書店に行列ができるほどの大騒ぎ。シリーズはそのたび大人気で、映画也大ヒット！

- 10年 大河の一滴 → 五木さんもこのあたりから、人生しみじみエッセイが大好評

- 11年 五体不満足 ハリー・ポッター 賢者の石

H10. 長野五輪
日の丸飛行隊

- 12年 だから、あなたも生きぬいて

ハリー・ポッター 秘密の部屋



- 13年 ハリー・ポッター アズカバンの囚人

- 14年 ハリー・ポッター 炎のゴブレット

- 15年 バカの壁 → 養老先生のうちの猫は《まる》です

- 16年 ハリー・ポッターと呪いの子

- 17年 さおだけ屋はなぜ潰れないのか？

H18・荒川静香

- 18年 国家の品格

- 19年 ホームレス中学生 → お笑いタレントの半自伝本が大ヒット！

- 20年 夢をかなえるゾウ

村上春樹、出るたび話題に。ノーベル賞候補の話もなんともあったけど……

- 21年 1Q84

- 22年 もし高校野球の女子マネージャーが～

- 23年 謎解きはディナーのあとで

- 24年 聞く力

- 25年 色彩を持たない多崎つくる～

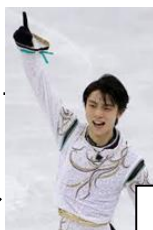
- 26年 長生きしたけりゃふくらはずを～ → お読みになった皆さん、お元気ですか？

- 27年 火花 → 芥川賞受賞だ！

- 28年 天才

- 29年 90歳。何がめでたい

30年 **はて、どんな本がおもしろかった？**



H30. ゆづ！

政治の低迷、一強の体制なのにいま一つたよらないリーダーシップ、そんな状況がかつての「田中角栄」を求めさせたのか？ 政治家としての石原慎太郎の見た「田中角栄」伝。よっしゃ、よっしゃ。

笑って、食べて、読んで、元気で長生きしてください！